

SCU 病棟へ入院された患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

2021 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日に脳卒中で SCU に入院し、経腸栄養を受けられた患者さん

【研究課題名】

脳卒中患者における経腸栄養後の下痢発生因子についての検討

【研究責任者】

国立循環器病研究センター SCU 病棟 看護師 伊藤未央

【研究の目的・意義】

脳卒中を発症された患者さんは意識が悪くなったり飲み込みがうまくできなくなったりすることで、口から食事を摂れなくなり鼻から胃に管を通して栄養剤を直接投与する経腸栄養が開始されることがあります。経腸栄養は感染性の合併症を減らしたり、患者さんの体力を回復したりすることに繋がると言われています。しかし経腸栄養を開始すると、腹痛や嘔吐、下痢などの消化器にかかわる合併症を起こすことがあり、その中でも下痢は発生頻度の高い合併症です。下痢が続くと栄養吸収不良、脱水、皮膚トラブルなどの問題を引き起こす場合があります。そこで私たちは脳卒中を発症された患者さんのうち、経腸栄養を開始した患者さんについて調べ、脳卒中患者と経腸栄養開始後の下痢発生の関連要因を明らかにすることを目指します。脳卒中患者と経腸栄養開始後の下痢発生の関連要因を明らかにすることで、今後予防的ケアや早期対応が可能となり、看護ケアの質向上に繋がると考えます。

【利用する診療情報】

- ① 患者さんの背景情報

年齢、性別、生年月日、発症日時、受診時刻、身長、体重、BMI、入院時内服薬、脳血管疾患の既往、既往・併存疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症、腎機能障害）、喫煙歴、飲酒歴、家族歴、認知機能障害の有無

② SCU 入院中の情報

バイタルサイン：体温、来院時血圧、治療後の血圧

脳卒中：発症時意識状態、来院時麻痺の状態、一週間後麻痺の状態、画像診断、脳卒中の病型、病巣

経腸栄養：経腸栄養開始日、栄養期間、絶食期間、栄養剤の種類、経管栄養投与速度、下痢発生日、下痢継続期間、便性状

血液データ：電解質、栄養状態、炎症値、腎機能の値、コレステロール、空腹時血糖値

その他：降圧薬使用の有無、肺炎の有無、感染症の有無、抗生剤の有無、整腸剤使用の有無、偽膜性腸炎の既往

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】研究許可日より～2027 年 3 月 31 日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2025 年 6 月 2 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター SCU 病棟 看護師 伊藤未央

電話：06-6170-1070